



## 2020年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月12日

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

上場取引所 東

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 2019年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年4月期第1四半期の連結業績(2019年5月1日～2019年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	6,169	4.8	364		300		216	
2019年4月期第1四半期	5,885	9.6	132		71		57	

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 269百万円 ( %) 2019年4月期第1四半期 87百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	42.98	
2019年4月期第1四半期	11.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	33,278	12,422	37.3
2019年4月期	30,832	12,792	41.5

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 12,422百万円 2019年4月期 12,792百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期		0.00		20.00	20.00
2020年4月期					
2020年4月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,700	2.4	310		230		180		35.68
通期	41,800	2.2	700	40.6	860	36.1	530	40.5	105.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年4月期1Q	5,075,500 株	2019年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2020年4月期1Q	31,368 株	2019年4月期	31,348 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年4月期1Q	5,044,144 株	2019年4月期1Q	5,044,230 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に一定の改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続く一方で、米中の貿易摩擦が世界経済に与える影響や海外情勢の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、一定の需要に支えられてはいるものの、今年10月に予定されている消費税増税や年金問題などの将来不安から、消費者の節約志向は依然として根強く、また人手不足を背景とした人件費や物流費の上昇など、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中、当社グループは、お客様の安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に営業活動を推進してまいりました。

美味しさの追及はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応した製品供給を実現するための生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は包装米飯及び包装餅製品とも主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比2億84百万円増の61億69百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

利益面につきましては、聖籠工場の新設にともなう売上原価の増加により売上総利益が減少したことに加え、販売量の上昇にともなう販売促進費および物流費の増加が影響し、営業損失は3億64百万円(前年同四半期営業損失1億32百万円)、経常損失は3億円(同経常損失71百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億16百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失57百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

## 製品分類別の販売動向

## (包装米飯製品)

包装米飯製品では、今年6月より稼働を始めた新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の竣工を記念した『サトウのごはん聖籠ファクトリー竣工記念キャンペーン』を実施するとともに、弊社独自の釜炊き製法をアピールする新テレビCM『サトウのごはん「ふっくら釜炊き篇」』を7月より全国放映するなど、販売促進に努めました。

また、新商品としては9月1日の発売を目指し、「サトウのごはん銀シャリ小盛り150g」、「サトウのごはん銀シャリ大盛り300g」の商品開発に取り組みました。「小盛り」は女性やお子様向けに、「大盛り」は従来の200gでは物足りなさを感じていた方にもご満足をいただけることを目的に商品開発を行いました。

加えて、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチし、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は49億47百万円(同2.0%増)となりました。

## (包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループだけが使用している「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)の特性を、引き続きお客様に認知していただけるよう、テレビCMの放映を継続し、販売活動に取り組みました。

新商品としては秋以降の需要期に向けて、鍋料理によるお餅の消費に合わせた「サトウのしゃぶしゃぶもち」や、お餅1個の重量を20gとコンパクトに設計することで従来品より火が通り易く、調理時間が短縮される「サトウの切り餅シングルパックミニ」、「サトウのまる餅シングルパックミニ」の商品開発を進めるなど、さらなる需要拡大に向けた取り組みを実施いたしました。

また、年末商材である鏡餅については、アイテムの充実や一部製品にパッケージのリニューアルを図るなど、販売増加に向けた商品開発に取り組みました。

その結果、包装餅製品の売上高は12億17百万円(同18.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は332億78百万円となり、前連結会計年度末に比較し24億45百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が9億9百万円、原材料及び貯蔵品が8億53百万円それぞれ減少したものの、商品及び製品が28億73百万円、聖籠工場の新設にともなう有形固定資産が11億20百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は208億56百万円となり、前連結会計年度末に比較し28億16百万円増加いたしました。これは主に未払金が12億85百万円、流動負債のその他(未払法人税および未払消費税等)が4億89百万円それぞれ減少したものの、運転資金として短期借入金が40億円、設備投資としての長期借入金が7億37百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は124億22百万円となり、前連結会計年度末に比較し3億70百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失2億16百万円および剰余金の配当1億円により利益剰余金が3億17百万円、その他有価証券評価差額金が63百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は37.3%(前連結会計年度末は41.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月期決算短信(2019年6月10日公表)において公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	349,847	185,523
受取手形及び売掛金	6,155,029	5,245,121
商品及び製品	1,790,732	4,664,384
仕掛品	630,586	605,456
原材料及び貯蔵品	2,899,152	2,045,355
その他	106,702	507,956
貸倒引当金	△4,830	△4,070
流動資産合計	11,927,221	13,249,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,424,128	5,979,915
機械装置及び運搬具(純額)	4,516,500	6,793,412
土地	2,346,415	2,346,415
その他(純額)	4,318,354	606,326
有形固定資産合計	14,605,399	15,726,070
無形固定資産	98,575	103,038
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,459,818	2,452,659
その他	1,765,351	1,771,376
貸倒引当金	△26,020	△26,020
投資その他の資産合計	4,199,150	4,198,015
固定資産合計	18,903,125	20,027,124
繰延資産	2,035	1,424
資産合計	30,832,382	33,278,278

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,854	1,245,052
短期借入金	1,050,000	5,050,000
未払金	3,386,410	2,100,491
引当金	399,179	232,519
その他	3,975,215	3,485,904
流動負債合計	10,008,659	12,113,968
固定負債		
長期借入金	6,653,563	7,391,196
引当金	60,414	54,374
退職給付に係る負債	1,020,043	1,012,390
その他	296,737	284,262
固定負債合計	8,030,758	8,742,224
負債合計	18,039,418	20,856,192
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	11,430,384	11,112,685
自己株式	△36,167	△36,240
株主資本合計	12,443,992	12,126,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	603,540	540,065
退職給付に係る調整累計額	△254,568	△244,199
その他の包括利益累計額合計	348,972	295,866
純資産合計	12,792,964	12,422,085
負債純資産合計	30,832,382	33,278,278

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
売上高	5,885,553	6,169,685
売上原価	3,610,808	3,989,863
売上総利益	2,274,745	2,179,821
販売費及び一般管理費	2,407,381	2,543,917
営業損失(△)	△132,636	△364,095
営業外収益		
受取利息	44	-
受取配当金	4,611	5,250
受取賃貸料	45,942	48,654
その他	62,089	50,604
営業外収益合計	112,688	104,508
営業外費用		
支払利息	17,424	7,937
賃貸費用	21,039	22,901
その他	13,448	10,535
営業外費用合計	51,912	41,375
経常損失(△)	△71,861	△300,962
特別利益		
固定資産売却益	5,469	-
特別利益合計	5,469	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△66,392	△300,962
法人税、住民税及び事業税	6,564	6,671
法人税等調整額	△15,752	△90,817
法人税等合計	△9,188	△84,145
四半期純損失(△)	△57,203	△216,816
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△57,203	△216,816

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
四半期純損失(△)	△57,203	△216,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,070	△63,474
退職給付に係る調整額	9,218	10,368
その他の包括利益合計	△29,852	△53,105
四半期包括利益	△87,056	△269,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,056	△269,922
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。